

国立大学法人島根大学役員会（第427回）〈議事要録〉

日時 令和7年10月21日（火） 15:00 ～ 16:15

場所 本部棟3階 特別会議室（TEAMS 利用）

出席者 大谷学長、増永理事、松崎理事、金山理事、椎名理事、大川理事、宮脇理事、上野理事

オブザーバー 吉田監事、栗原監事

〔陪席：企画部長、研究・地方創生部長、教育・学生支援部長、総務部長、
財務部長、松江地区学部等事務部長、医学部事務部長、監査室長事務取扱〕

議決事項1 国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況（令和7年度）について

- 増永理事から資料に基づき、国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況（令和7年度）について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議決事項2 島根大学における生成AIの利用ガイドラインの制定について

- 松崎理事から資料に基づき、島根大学における生成AIの利用ガイドラインの制定について説明があった。
- 宮脇理事から、生成AIの利用は不可避であるため、利用環境やルールを整備することが重要であるとの意見があり、松崎理事から、ガイドラインを随時見直すとともに、生成AIの安全な利用について教職員が理解を深める必要があるとの発言があった。
- 審議の結果、原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（教育情報の公表の状況）

- 松崎理事から資料に基づき、定期モニタリングの実施について（教育情報の公表の状況）説明があった。

報告事項1 令和4年度から令和6年度に発生した情報セキュリティインシデントについて

- 松崎理事から資料に基づき、令和4年度から令和6年度に発生した情報セキュリティインシデントについて報告があった。
- 宮脇理事から、セキュリティ対策として、メール開封時の注意点やパスワード管理など学内における基礎教育を徹底することが重要であるとの意見があった。

報告事項2 令和6事業年度財務状況分析について

- 大川理事から資料に基づき、令和6事業年度財務状況分析について報告があった。

報告事項3 令和7年度前期（4～9月）の資金運用報告について

- 大川理事から資料に基づき、令和7年度前期（4～9月）の資金運用報告について報告があった。
- 吉田監事から、低利回りの長期国債保有による将来的な収益減を踏まえ、金利リスクを考慮した運用が重要であるとの意見があり、大川理事から、定期的に金利動向を確認する体制を整えつつ、リスクを抑えた安全な商品で利回りを確保しながら運用に努めたいとの発言があった。

報告事項4 附属病院運営状況について

- 椎名理事から資料に基づき、附属病院運営状況について報告があった。
- 増永理事から、今年度下期の収支見通しについて質問があり、椎名理事から、予測しづらい

状況ではあるが、病床稼働率は上昇しており、事務的な漏れがないよう引き続き対応を徹底したいとの回答があった。

報告事項5 松江及び出雲保健管理センターの薬剤チェックについて

- 学長から資料に基づき、松江及び出雲保健管理センターの薬剤チェックについて報告があった。
- 吉田監事から、適切に処理されている場合には役員会への報告を要しないなど、事務負担軽減に向けた報告体制の見直しについて意見があった。

報告事項6 副学長の業務執行状況について

- 資料に基づき、書面による報告があった。

報告事項7 全学委員会の議事報告について

- 資料に基づき、書面による報告があった。